

復興庁 第4回「浜通り復興リビングラボ」シンポジウム

- リビングラボ実証事業の成果を共有し、今後の持続的な発展に向けた議論を行うため、シンポジウムを開催（約160名参加）。
- 終了を迎える民間企業9社・8市町村による8つの実証事業について成果報告するとともに、ポスターセッションにて各案件の進捗状況を確認した。

○日時：令和7年2月28日（金） 13:30～16:00（12:00～ポスターセッション） ○会場：楡葉町コミュニティセンター 大ホール ※オンライン併用

○参加者：約160名（現地115名、オンライン46名）

福島浜通り地域等13市町村：いわき市、相馬市、田村市、南相馬市、川俣町、広野町、楡葉町、富岡町、川内村、大熊町、浪江町、葛尾村、新地町
民間企業：23社

パートナー：福島国際研究教育機構（F-REI）、福島県、福島イノベーション・コースト構想推進機構、福島相双復興推進機構、環境省、講談社

学術連携パートナー：福島大学、東北大学、東京大学 / その他（一般、メディア） / 復興庁

○実証事業の成果報告

＜全体概要＞復興庁よりコンセプト、令和6年度の実施状況、課題等を説明。

＜実証事業の成果報告＞

今年度終了を迎える8つの実証事業について、民間企業9社・8市町村から成果報告があり、東京大学・近藤准教授、福島大学・藤室特任准教授が講評。

① URシステムズ(株)×南相馬市

ChatGPTを活用した市民サービスの向上

② (株)フジタ×南相馬市、飯館村、浪江町

ドローンを活用した山林測量、山林管理の生産性向上

③ (株)ウェザーニューズ×浪江町

極端化する気象現象を踏まえた安心・安全な街づくりに関する取り組み

④ (株)ゼンリン×大熊町、双葉町、浪江町

ドライブレコーダー画像を活用した道路危険地点の検知

⑤ (株)オリエンタルコンサルタンツ・(株)NTT-ME・NTTインフラネット(株)

×富岡町、浪江町 3D都市モデルのまちづくりへの活用方策の検証

⑥ (株)DeNA×いわき市

防災をテーマにした子どもたちへの先端教育、3Dアートワークショップの実施

⑦ 大日本印刷(株)×楡葉町、富岡町、浪江町

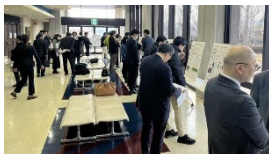
行政窓口のユニバーサル対応・外国人対応（対話支援事業）

⑧ 大日本印刷(株)×南相馬市

服薬サービス事業（ドローンによる調剤配達、リモート服薬管理サポート）



成果報告の様子



ポスターセッション



成果報告～講評～

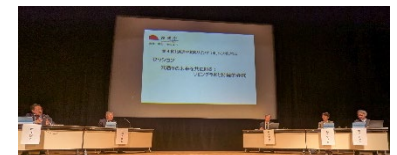
○セッション「浜通りの未来を共に創る：リビングラボの持続的発展」

（モデレーター：東京大学・飯田特任准教授）

- ・F-REI・山崎理事長、楡葉町・松本副町長、大日本印刷・森谷部長、東北大学・御手洗教授に登壇いただき、浜通り地域等におけるリビングラボの持続的発展に向けて議論。
- ・楡葉町：住民を置き去りにする取組は長続きしない。住民も巻き込みながら、最新技術の実証を通して課題を解決し、イノベーションを実践するこの取組は素晴らしい。産学官民が共に向かう姿勢が大切。
- ・大日本印刷：自治体の皆さんとの意見交換はリビングラボならではであり、大変有益。地域の実情をよく把握している自治体と早い段階から関わることが肝要。
- ・東北大学：現地に拠点を整備し、地域のニーズ把握や助言などの支援を行っていく。学生と企業の相乗効果も期待。企業のモチベーションが高いことに驚き。維持が大事。
- ・F-REI：浜通りをどうしていきたいか、というビジョンを関係者間で共有し、バックキャストしながらそれぞれの役割を考え、行動する必要がある。
- ・住民を巻き込みながら、地域が一体となって関係者で共創して進めること、専門的な内容を地域密着型で活かすこと、ビジョンを共有して同じ方向に向かうこと、仲間を増やすためには取組の情報発信やPRが重要であることを確認。
- ・今後も関係者が積極的に参加して継続して進めていくこととした。



登壇者の集合写真



セッション